

11番（山崎鉄好君）〔登壇〕

議長より発言の許可をいただきましたので、これより私の一般質問を始めさせていただきます。今回は、私は3項目について質問させていただきます。

まず最初に、市長の今後の市政運営についてお伺いいたします。

1市2町が合併し、新武雄市が発足し3カ月、この合併により新武雄市が一步步き出した状態であります。市長はもちろん私たち議員も新人として今後の市政運営に携わり、役割を果たさなければなりません。

そこで市長は、今回の選挙戦で政策提案集「具約42」を上げられ、市民の絶大なる支持を受け、当選されました。

その中で、樋渡啓祐市長の思いということで、最初に、武雄に生まれてよかった、育ってよかった、また、帰ってきてよかったといったぬくもりのある元気な武雄市を市民と一緒につくります。また、財政状況から見ても、新市は1年どころか一刻の猶予もない状況である。それにまちづくりで成功した全国の市も、10数年はかかります。そういうことで、運営が前提ですが、武雄市のかじ取りを10数年やりたいということで、ここに書いておられます。

そこで、私は、この新武雄市を武雄市長は5年後、10年後、20年後をどういうふうな青写真を描いておられるか。ここに書いてある武雄に生まれてよかった、育ってよかった、帰ってよかったと。ぬくもりのある武雄市というのは、私自身から考えて、本当にいい武雄市とは思いますが、具体的に自分の武雄市の青写真をどのように描いておられるのか。またそれに対して今後どのような抱負を持って市長はこの市政に当たられるのか、お伺いいたします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

御答弁申し上げます。

私が思い描く青写真は1点のみであります。それはにぎわいであり、このにぎわいがない限り、どんな産業、どんな施策をやっても効果は私は上がらないと思っております。その上で1点大事なことは、まず住んでいる人が10年、20年後の青写真でいうと、武雄に誇りを持つということです。武雄に住んでよかった、あるいは武雄に住むことが誇りであると、そういう意識を持っていただくこと。そして、それを受けて外からの人が武雄に行ってみようかと、あるいは住んでみようかというようなまち、私は武雄はできるというふうに思っております。

湯布院、どがんでしょうか。私は湯布院には申しわけないけれども、武雄の方がよっぽどよかと思えます。10年前の湯布院と比べると。しかし、官民挙げてあそこまでなされたという努力には深い敬意を表する次第であります。私はこれを見習って、まず私ができることは、

具約の42を1個1個着実に皆さんの御協力をかりて、あるいは市民の賛意を得て進めることだというふうに思っております。できることからまずやっていく。そして、最終的10数年後には、気がついてみれば、ああ武雄はこがん変わったねというふうに思えるまちづくりに私は身を賭して頑張っていきたいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

11番山崎議員

11番（山崎鉄好君）〔登壇〕

はい、わかりました。やはり本当に市長はこの選挙戦ですばらしい成績で、市民の期待は物すごいものがありますので、若いからといって無理もせずに、しっかりとこの市政をやっていたきたいと思えます。

次に、市長は広域化した新武雄市の目配りを行い、庁内分権の徹底を図るために2人副市長制を提言し、22日に承認されました。そこで、分掌事務は1人の方が企業誘致に関する事務など対外的な業務に、またもう1人の方が、それぞれのそれ以外の事務にし、市長と三位一体の市政運営をし、業務のスピードアップを図るといふことに市長が言われております。

そこで、副市長2人に、市長を支える立場として、この市政に取り組む姿勢並びに意気込みをお聞きしたいと思いますけど、よろしく願います。

議長（杉原豊喜君）

古賀副市長

古賀副市長〔登壇〕

お答えします。

私に与えられました職務でありますけど、従来の助役に求められておりました市長を補佐するというのみならず、今回の場合は、権限と責任を与えられまして、非常に緊張しているところでございます。また、廃止になりました収入役の職務につきましても兼掌するということとなります。そしてまた、特に今回は、人口3万4,000人の旧武雄市ではなくて、5万3,000人の新武雄市であります。そこで、第1に、市長の基本姿勢をしっかりと受けとめながら、合併後の地域の一体性を醸成していくことが肝要だと思っております。元気な武雄市づくりのためには、大いに業務を遂行する覚悟でございます。

また私に与えられました任務は、主に内政担当ということですので、合併に関する調整事項、そして行政改革、また広域圏業務などを担当することになります。これらの任務を遂行するためには、対外的には特に北方町、山内町につきましては詳しく存じませんので、できるだけ多く出向いていって、地域の皆さんの声を聞いて市政に反映していきたいと思っております。

また、職場におきましては、職員の意識改革、そして人材育成、これらにつきましても、大いに教育をしながら進めていきたいと思っております。市民の皆様が合併してよかったと

いうように、元気のある武雄市づくりのために全力を傾注する所存でございます。

以上です。

議長（杉原豊喜君）

大田副市長

大田副市長〔登壇〕

新しい武雄市の発展と市民の福祉の向上のために、副市長として微力ではありますが、誠心誠意努力する覚悟でございます。どうぞよろしく願いいたします。

私の意気込みでございますけれども、この一般質問で何度か触れられましたけれども、合併しても、財政的には依然として厳しい状況には変わりございません。合併が成功するかどうかは、これからの頑張り次第だと思っております。一方、地方分権が進んでおりますが、地方分権が進められた目的は、地方の自由度を増すことが目的でございました。その結果、地方が自由に決めて、自由にまちづくりができるようになった次第でございます。そういう中、武雄市がこれから元気なまちになっていくためには、他の自治体にはないアイデアが一番必要だと思っております。それを実現するためには、まずは私を含めた市役所職員すべての職員がやる気を持つことが重要でございます。さらには市民の皆様の盛り上がりが大変重要だと思っております。そういう考え方のもと、最大限努力をしていきたいと思っております。

それから、私の取り組む姿勢といたしましては、次のような姿勢で取り組んでまいりたいと思っております。

まず1点目は、新市長の基本姿勢を十分理解した上で、諸課題の解決に取り組んでまいりたいと思っております。幸い、市長室に同席、相部屋で仕事させてもらっておりますので、共通理解が図られますので、情報を共有して、一緒になって取り組んでいきたいと思っております。

それから、私に課せられた課題といたしましては企業誘致がございます。企業誘致につきましては、安心して武雄市に来ていただきますように、私が直接出向きまして、人間関係、信頼関係を築きまして、安心して来ていただきますように、足で稼ぎたいと思っております。

3点目、情報発信につきましてでございますが、私、まずは武雄市の現状と課題を十分に把握する必要があると思っております。その上で、何をどのように発信した方が効果的なのか、自分なりにしっかり考えて、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

議長（杉原豊喜君）

11番山崎議員

11番（山崎鉄好君）〔登壇〕

ありがとうございました。本当、市長は行動力はあって、若くありますけど、時々突っ走るときもありますので、一応市長の補佐役として、しっかり監督指導もよろしく願いいたします。

それでは、次の質問に入ります。武雄市も前の3万4,000人じゃなくて、新しい5万3,000人という広域的な武雄市になっていきました。そういう中で、市長は今言われましたように、雇用の確保、まちのにぎわいを創出するため企業を誘致し、財源の確保、またあらゆる観光資源を生かした観光産業の活性化、高齢者、子供、障害者にとって安全で安心な武雄市、農産物や特産品のブランド化などを重点課題として上げておられます。そういう中で、市役所のこの執行部の中でも、企画部がふえ、また市民環境部がふえて、市役所の機構改革も進んでおると思います。

そこで、本当に現在どのような今後重要案件事項が各部であるか、随時重要事項及び懸案事項がありましたら、急いで答弁をお願いいたします。

議長（杉原豊喜君）

大庭総務部長

大庭総務部長〔登壇〕

まず、総務部でございます。合併後、本庁主方式となっております、総務部は本庁、支所を通じた管理機能を果たす責任があると認識をしております。そういうことで、部門間、本所、支所間の連携により行政事務の執行の支援を行うということを第一義にしております。

基本的な取り組む姿勢といたしましては、厳しい財政状況であることを念頭に置きながら、徹底した改革意識のもと、業務の進行管理を徹底し、行政活動の基本をプラン・ドゥー・チェック・アクション、いわゆる計画・実行・評価・改善という四つのマネジメントサイクルとし、これを実践していきたいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

前田企画部長

前田企画部長〔登壇〕

企画部でございますが、企画部としては、以下の5点を重点目標に取り組んでいきたいと思っております。

まず1点目は、市町村合併の目的でもございます行財政の改革をまず最重要課題として取り組んでいきたいと思っております。

それから2点目として、県西部の中核都市としての基盤整備、特にこれについては企業誘致を積極的にやっていきたいというふうに考えております。

それから次に、3点目として、高速交通ネットワークの構築、特に新幹線の早期着工に全力を尽くしたいというふうに考えております。

それから4点目に、男女共同参画社会の実現でございます。

それから、最後の5点目ですが、市長具約の42、これについて企画の方で進行管理をして、早急に実行に移したいということで考えております。

以上でございます。

議長（杉原豊喜君）

松尾経済部長

松尾経済部長〔登壇〕

経済部でございますが、経済部は、農林課、商工観光課、競輪事業課の三つの課でございます。

まず、農林課の重要政策、懸案事項について申し上げます。農林課では、具約42の中の食育、地産地消を推進するために、農産物直売所や学校給食への支援を行いながら、地元農畜産物の利用促進を図るとというのが一つでございます。

また、国の経営所得安定対策大綱に三つの対策がありますけれども、これは品目横断的経営安定対策、それから米政策改革推進対策、農地・水・環境保全向上対策がありますけれども、これについて具体的な取り組みを行っていきたいと思っております。

次に、商工観光でございますが、商工観光では、具約42によります、ぬくもりのある元気な武雄市をアピールし、広域連携によります観光戦略で、観光産業の活性化を図るというふうにいたしております。また、湯のまち武雄の物産祭りの見直しや、武雄ブランドの認定、情報発信、それから商店街支援事業、飛龍窯改修等周辺整備、こういうものに取り組んでいきたいと思っております。

それから、競輪事業課でございますが、競輪事業課では、競輪事業の財政の健全化を推進するということにいたしております。具体的には、記念競輪場外発売の拡大、新たなサテライト場外の発売所の開拓、それから、ふるさとダービー等特別記念の早期開催に向けた誘致活動、組織体制のスリム化等を図って、健全化を図っていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

議長（杉原豊喜君）

大石建設部長

大石設部長〔登壇〕

建設部でございます。建設部は建設課、都市計画課、下水道課でございます。

建設課は、市民とともに作る道づくりということで、国道、県道、市道の整備促進、それから災害に強く、自然と共生する地域づくりということで、急傾斜地の崩壊対策等、それから河川整備、それから六角川に設置されております水門樋管、排水樋管等の管理というふうなことを重要事項という形で掲げております。

それから都市計画でございますが、鉄道高架、それから土地区画整理事業、それから市長の具約にあります景観条例の作成、そういったものを重要事項ということで位置づけてやっております。

それから下水道でございますが、下水道は、公共下水道、農集排事業の今現在取り組んで

おります部分の推進、それから浄化槽整備の推進、それに伴いまして、新市の下水道整備計画の作成、こういったものが急がれますので、こういったものを重要事項、懸案事項という形で掲げております。

議長（杉原豊喜君）

藤崎市民環境部長

藤崎市民環境部長〔登壇〕

市民環境部でございます。市民環境部につきましては、市民課、環境課、税務課となっております。

市民課では、窓口業務の市民サービスの向上。

環境課では、1点目として、ごみ減量化の推進。2点目で、一般廃棄物ごみ、し尿処理基本計画の策定。3点目に、合併後の調整項目の調整。

税務課におきましては、1点目に市税等の徴収率の向上。2点目に、賦課事務の公平・適正化を市民環境部の重点施策とさせていただいております。

議長（杉原豊喜君）

中原福祉保健部長

中原福祉保健部長〔登壇〕

福祉保健部でございますが、福祉課と健康増進課を担当いたしております。福祉課については、本年4月から施行の障害者自立支援法に基づく事業推進、特に認定審査会の共同設置、それから市障害者福祉計画の策定等を行います。

2点目といたしまして、行財政改革の一環である保育所管理運営計画の見直しと、朝日保育所、第2保育所の統合民営化の推進を図っていきます。

3点目に、土地区画整理事業の関連で、平成19年3月31日までに移転しなければならない武雄市社会福祉協議会事務所の移転に取り組みます。

4点目に、北方、山内支所及び施設の有効利用を図るため、子育て支援、障害者支援の拠点づくりを進めていきます。

健康増進課でございますが、介護保険事業の介護予防に関する業務を行う包括支援センターの円滑な推進を図っていきます。

2点目といたしまして、国民健康保険事業、老人保健事業を推進していきます。特に国保会計の安定維持のため、医療費抑制策の研究、予防事業の充実を図っていきます。

3点目に、食育基本法に基づく市食育基本計画の策定を行いたいということで考えています。

それから、両課の共通事項といたしまして、新市の一体化を図るため、旧1市2町で計画書を策定してありました老人保健福祉計画、新障害者福祉計画、次世代育成支援行動計画、それから健康づくり計画書等の統合を図りたいというふうに考えております。

議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

古賀教育部長〔登壇〕

教育部です。3点掲げたいと思います。

一つ目は、確かな学力の育成と個性を生かす多様な教育の推進ということでございます。基本的な生活習慣とか学習習慣の確立、それから基礎的な知識・技能、それから思考力・表現力、そういった確かな学力の定着のために学習内容、指導方法の改善充実に努めることにしております。また、子供たちの発達段階に応じた個性を生かす多様な教育の推進を図っていきたいと考えております。特に読み書き、計算等の基礎的な事項の反復練習につきましては、今後とも力を入れていきたいというふうに考えております。また、これとあわせて、子供たちの豊かな人間性をはぐくむ、あるいは相談、不安感をなくすと、そういったことも大事でございますので、サポートチーム等の支援システムづくりにも努めていききたいというふうに思います。

それから2点目です。児童・生徒の安心・安全の確保ということでございます。子供たちをねらった声かけ等の犯罪とか、あるいは子供たちが巻き込まれる交通事故等が多発するなど、非常に厳しい社会状況でございます。地域の安全を考える会という全市的な組織もございますので、保護者、企業あるいは警察等とも連携をとりながら、安全対策を講じていきたいというふうに思います。

また、青色回転灯をスタートさせておりますので、これの全市的な展開を図り、またメール等による保護者への不審者情報等の配信、あるいは休校等のお知らせ等についての全市での展開、そういったものも図っていききたいというふうに思っております。

また、子供たちの体の方の安心・安全ということからいたしまして、食に関する教育の推進とか、ふるさと食の日、あるいは地域の地産地消、そういった問題にも取り組んでいきたいと思います。

それから三つ目です。トムソーヤ事業の推進ということでございます。あすを担う青少年を育成するために、子供たちが主体的で創造性を持って、たくましく社会の一員として育つように、家庭・学校・地域社会、これらが一体となって取り組む体制とか、あるいは体系化された事業、そういったものを展開をいたしまして、子供たちが将来に夢、希望が持てるような事業ということで、トムソーヤ事業を取り組みたいと考えております。

以上でございます。

議長（杉原豊喜君）

伊藤水道部長

伊藤水道部長〔登壇〕

水道部でございます。水道部の重要事項としましては、水道料金が値下げできるように、

まずもって支出の見直しを行うこととあわせて、庁内議論を進めているところでございます。その上に立ちまして、今回予算でお願いしております今後の武雄市水道の将来的な運営を左右します水道統合整備計画等、まだ3事業体が統合しておりませんから、この3事業体統合に向けての国に提出する認可申請書の作成を行いたいということで考えているところであります。国に対する認可申請につきましては、平成19年度中を考えておりますけれども、将来的な水需要をどれくらい見込むのか、給水人口を幾らにするかなど、今後の整備充実水準にも直接かわりがございますので、これについて十分議論をしていきたいというふうに考えているところであります。

懸案事項としましては、先ほど一般質問でありましたとおり、鉛管、石綿管、それと老朽化する施設の更新などをどう解決し、水の安定供給を図っていくかというところでございます。

以上でございます。

議長（杉原豊喜君）

木寺市民病院事務長

木寺市民病院事務長〔登壇〕

市民病院でございます。住民の健康を医療面から支える機能、これを発揮いたしまして、その役割を果たしたいというふうに考えております。そのためには、まず安全な医療の提供ということが前提でございまして、一つは、2次救急医療体制の整備をしっかりと図っていく。具体的には医師の確保等からなるものでございます。

それから療養環境の改善、これについても努めたい。バリアフリーや老朽化対策、こういうことも実施をしたいというふうに考えております。

それから、大きくもう一つは、経営の健全化対策の推進ということでございます。収入対策、あるいは経費の節減対策、これに努めてまいりたい。

それから、病院の位置づけとして、地域の開業医さんの1次医療、これを支援してまいりたい。そういう観点から地域医療を連携していきたいというふうに考えております。

それから、昨年から実施をしております経営診断業務、これの2次でございますけれども、この推進に努めたい、そういうふうに考えております。

議長（杉原豊喜君）

11番山崎議員

11番（山崎鉄好君）〔登壇〕

どうもありがとうございました。この新市の発足で大変とは思いますが、執行部の皆さん、どうぞよろしく願いいたします。次の質問に入りたいと思います。

次の質問ですけれども、皆さんも御存じのとおり、選挙期間中の4月10日から11日にかけて、時期外れの大雨で、橘地区の国道並びに家屋、また収穫間近な麦などに大変被害が発生



いたしました。

そこで、市としては被害状況をどのように把握しているか、お尋ねいたします。

議長（杉原豊喜君）

松尾経済部長

松尾経済部長〔登壇〕

お答えいたします。

4月10日、11日の水害によります麦の冠水面積でございますが、橘地区で60ヘクタールということで、ちなみに白岩競技場の約46倍程度の面積になっております。

それから、被害面積でございますが、杵島地区農業共済組合の調査によりますと、発育不良によります橘地区の麦の収穫放棄面積は9.2ヘクタールで、これも白岩競技場の約7倍程度。また品質低下によります規格外と予定されております面積は12.9ヘクタールになっておりまして、白岩競技場の約10倍程度の面積となっております。

麦の被害額の確定につきましては、共済組合によります算定が1筆ごとの収穫による基準としておりますために、被害金額の確定が10月以降になりませんとわかりませんということで、現時点で把握をできておりません。

議長（杉原豊喜君）

大石建設部長

大石建設部長〔登壇〕

道路、河川の状況でございます。国道498号、市道4路線の一部において冠水による通行制限を行っております。それから未明には、自動車か1台水没ということになっております。それから橘地区では、道路施設で1カ所の路肩崩壊が発生をいたしております。また、同橘地区で床下浸水が、家屋4件ということになっております。市内全域では、道路施設で10カ所、河川で4カ所、これが災害で扱うということでしたらおるものでございます。それから、小災害として取り扱うというのが、道路6カ所、河川2カ所ということで、被害が出ておるところでございます。

議長（杉原豊喜君）

11番山崎議員

11番（山崎鉄好君）〔登壇〕

今、本当、被害状況言われたように、橘町の片白地区、釈迦寺地区では、大変被害をこうむっております。そこで、今まで内水対策としていろんな施策をしていただいております。そこで、今、武雄市では板橋、高橋、それに鳴瀬、橘には、東側のポンプということになっておりますけれども、この東側ポンプを設置するときには国土交通省の方は、農作物はやむを得ませんけれども、ただ主要国道、道路が冠水、また家屋の浸水などは、これをつけたら大丈夫というような感じで設置されたと私は聞いております。

そこで、今回の大雨のときに、国土交通省の河川事務所の方から、特別に、また緊急的にポンプを配置されて排水されたということですが、本当、この東側の排水ポンプ、能力は1トンが5台ということになっておりますけれども、それで本当能力不足だと私たち橋町民は思っていますけれども、市はどのように思っておられるのか、また国土交通省に対して、能力のアップをお願いできないか、お伺いいたします。

議長（杉原豊喜君）

大石建設部長

大石建設部長〔登壇〕

東側排水機場のポンプ施設でございますが、これによって内水被害の軽減がある程度できておりますし、床上浸水が解消されたということでは効果がかなり上がっているというふうに思っております。今回も警報発令時から地元の操作員さんたちが協力して、排水機場、樋門等の操作を行ってまいりましたが、何分にも短時間の降雨量、多雨量ということで、内水排水が追いつかなかったというようなことでございます。

御指摘の国、県とどのようにその点について話をしているかということでございますが、今回の水害を受けまして、再度、地元、国、県と協議をして、さらに方法を考えていきたいというふうに今されております。

それからもう一つは、すぐできるところからということで、実は水位の確認というのがなかなかできないという地元の要望がありまして、これにつきましては水位確認ポールということで、量水標ということだそうですが、これを早急に4カ所設置をしたいということでお伺いをいたしております。今後また地元関係機関とは連絡を密にして、問題点、提議等しながらやっていきたいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

11番山崎議員

11番（山崎鉄好君）〔登壇〕

本当、片白地区は特に、今までは橋全体というか、北部全体がある程度冠水していたので、やむを得んかというところもありましたけれども、いろんなポンプ排水によって、冠水する範囲は狭められて、大変効力を発揮していただいておりますけれども、やはり橋地区全体が冠水しないような政策をとらなければいけないと私は思っております。

そこで、東側の水門の能力をアップさせていただいて、かつ釈迦寺地区にある、一番低いところに水門がありますけれども、あそこも排水ポンプをつけていただければ、道路の冠水はなくなるし、農産物の冠水時間も短縮されて、被害も多分減少すると思っておりますけれども、これは私の要望ですけれども、この件で、市長も選挙期間中の忙しい中に、多分11日に現場に行かれたと聞いておりますけど、その状況をどのように感じられましたか、お伺いいたします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

先ほど御指摘がありましたように、選挙期間中の朝5時に伺ったところ、たったこれだけの水量でこんなにつかるのかということは、私自身、現場を見てみて本当に驚愕したところでもあります。どういった改善の方法があるか、私もすぐには答えは持ち合わせておりませんが、可能な限り、あそこがつかからないような方法を農水省、あるいは国交省と協議して、また考えていきたいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

11番山崎議員

11番（山崎鉄好君）〔登壇〕

よろしく申し上げます。この浸水状況は、次の日やったですかね、テレビのニュースなどで全国的に報道され、やっぱりマイナス面での知名度が高まる結果となっております。

そこで市長が言う武雄市に生まれてよかった、育ってよかった、帰ってきてよかったといったぬくもりのある元気な武雄市のためにも、やはり一肌、二肌脱いで頑張ってくださいようお願いいたして、次の質問をさせていただきます。

次に、毎回の質問で申しわけございませんけれども、おつぼ山神籠石の用地購入についてお伺いいたします。

ここにいらっしゃる議員の皆さんで、北方町、山内町、また町民の皆さんも、そういうのは橋のどこにあるとやろうかというような感じでしょうけれども、これは昭和37年に発見され、38年に発掘調査が行われ、7世紀から8世紀につくられた古代山城ということで評価され、昭和41年に国の史跡に指定されたものであります。

そこで、今回お伺いしますけど、今回、おかげをもちまして、本当、買収、公有化予算をつけさせていただいております。そこで、あその面積は多分26万6,000平方メートルと聞いておりますけれども、今回の買収面積並びに今までの経緯と、また今後地元に対して、どのように進めていかれるか、お伺いいたします。

議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

古賀教育部長〔登壇〕

お答えを申し上げます。

おつぼ山の神籠石につきましては、議員、御紹介いただきましたとおりの史跡でございます。本市にとりまして非常に重要な史跡だというふうに思います。神籠石は全部で16カ所ほど全国にございます。その中の一つでございます。

国の指定の面積ですけれども、全体で87筆、面積にしまして約26万6,000平米ほどござい

ます。本年度から5カ年計画で土地の公有地化事業に着手をすることにしておりまして、今回予算をお願いいたしております。18年度は、そのうち約3万平方メートル、事業費ベースで約21,000千円を計画いたしております。公有地化の面積は、全体で5カ年間で約24万平米を購入予定でございます。今月の16日に市の事業につきまして、地元説明会を開催するように、今計画をいたしております。事業内容等について御説明を申し上げたいと思いますので、地権者の皆様方、また地元関係の皆様方の御理解と御協力をよろしくをお願いを申し上げたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

11番山崎議員

11番（山崎鉄好君）〔登壇〕

どうもありがとうございました。今回は約3万平米ということですが、あその土地は皆さんも御存じのとおり、非常に山としては見られないほど荒れております。そこで、前回は質問しましたけれども、あそこには多分、昨年度ぐらいからイノシシがすみついて、農業被害も出ている状況であります。

そこで、できれば1年でも早目の購入をしていただき、できる限り手入れというか、あそこはやぶみたいになっておりますので、前回の質問ではそれは地権者でしてくれというようなことでしたけれども、ただ、あそこの中に入って木を切ったりいろんなことをしたら、現状を、何というですかね、そのまま原形を崩さないようにというような感じで言われます。そこで、今言われましたように、16日に地元説明会をしていただくということでございますので、できればその辺のことも地元の方をお願いをするか、買ったところは自分たちで、市で管理していただくと思いますけれども、今後、自分たち地権者にこの辺までは木をいっぱい切ったらだめですよと。ただ、草とか雑木ぐらいは大丈夫ですよというようなことを地権者の方にお話をしていただいて、少しでも整備ができるように、その説明会場でお話をしていただくようお願いして、私の一般質問を終わります。

どうもありがとうございました。